

# Library Mate

## 図書館の明日を期待して

図書館長 三 隅 治 雄

私が図書館長に就任したのは、平成4年4月でした。折しも、その3月、長年の懸案だった図書館運営の機械化が緒について、館内にパソコン11台とファイルサーバーによるネットワークをつくり、外部のデータベースとの情報通信用にNTTのISDN回線を敷設しました。

図書館運営のベテランで当時の事務部長であった城田氏は、いまは他館に遅れは取ってはいませんが、すでに5年、10年の機械化計画を立てて進めているから期待して下さい。ただ経費がかかりすぎるのが問題でね・・・と声を落とされた。たしかに、大学・短大合わせて40万冊もある実践の図書館の蔵書のすべてをデータベース化して、検索自在、貸出し簡便という状態に持って行くには、よほどの金と時間がかかる。それをどうクリアするか、私など素人には溜息だけが先立つことでした。しかし、おどろいたのは館職員の意欲と努力のすさまじさで、他館がしている大型コンピュータ中心で行う業務処理が予算上無理だと言うなら、パソコンで分散処理しつつ、それらをネットワーク化していく方策を講じるなど、情報サービスの完璧化を目指しての研究と作業を必死で行っていたのです。その間平成6年度、茂木事務長が就任して、同年6月には、念願だった学術情報センターとのオンライン接続を大学図書館が果たし、12月には短大も追随。それをステップに短大蔵書の遡及入力に取組み、わずか1年3ヶ月後に10万冊近くの全蔵書の入力を完了し、平成8年4月には、機械貸出しを実現出来るまでになりました。これも、全スタッフが、費用がないならならぬの知恵を出し合い、あとは情熱と気力、体力のあ



りっただけをぶちまけた成果で、よくぞやってくれたなど、敬服も感心もしたことです。学園当局もこの努力を認めて予算計上に意を注いでくれますが、私学経営のきびしい時代に多くを求めるわけにもまいりません。すでに、低金額でいかに能率的な機械化を・・・について、館の上原氏等が事例発表を行って、他館の注目を浴びており、機器を扱う業界でも、わが館が苦心研究している低金額機械化の方策に、強い感心を示しているという話を聞きました。みみっちいようですが、しかし無理な状況では耐えねばなりません。むしろ、私が敬服するのは、館の職員が、おれたちには不可能の文字はないとの烈々の意欲を燃やして結び合っていることです。現に、短大に続いて大学の蔵書の遡及入力を始めましたが、八幡課長の話では、一万を超える予定以上の入力を果たして、遠からず、就任当時は夢のように思えた全蔵書のデータベース化とその機械貸出しが実現できそうな状況が見えてきました。それは、学生への当然のプレゼントであると共に、学術情報センターを通じて、実践が所蔵する豊富な書物を全国の研究機関の利用に供しうる嬉しいときでもあるのです。その後にもまた発展する図書館の明日の英姿を思いえがく昨今です。

## 向田邦子全集自立語の索引づくり

短期大学国文学科教授 加藤彰彦

向田邦子全集全3巻のうち、第3巻が文藝春秋社から刊行されたのは、昭和62年8月22日(第1刷)であった。著者である向田邦子は、昭和25年3月実践女子大学(当時は専門学校国語科)の卒業生で、軽妙な筆致によるエッセイは多くの読者の共感を得ている。

昭和62年といえば、文学作品に関する『作家用語索引』(教育社)が刊行されはじめたところである。芥川龍之介(昭60)森鷗外(昭60)志賀直哉(昭62)太宰治(昭64)など、作品研究の推進に役立つところが大きかった。

そのような風潮の中で、軽い気持ちで(実は創立100周年をめざして)自立語の索引をつくってみようと思いついた。思いつきはよかったのであるが、あとで大変な仕事であることに気がついた。

索引をつくるといえば、当時は文を単語に区切り、カード化していく作業がまず必要であった。各巻10万語としても30万語。出来上がったカードを五十音順に並べかえるのも大仕事である。

短大出身で大学へ編入していった学生(延べ10名)に頼んで、その作業を始めてもらった。文を文節に分け、その中を自立語と付属語とに分けていく橋本文法(中等文法)流の単語認定は、やさしいようでいて難しく、当初は質問の連続であった。採録したカード(名刺大)を2,000枚まとめて一つのカードボックスに詰めると、1巻で50箱にもなった。

そうこうしているうちに、パーソナルコンピュータ(パソコン)が出はじめ、データベースづくりには大変役に立つことが分かってきた。コンピュータなら、入力したデータを五十音順に並べかえることは、いとも簡単にやっつけるというのである。さっそく図書館をはじめ、学内各部署におられる先輩にお尋ねしながら準備を始めた。ちょうどそのとき、幸いにも電気

通信大学から東京学芸大学へ移られた加藤清方先生のご指導を受けることができた。先生は、外国人に対する日本語教育にマルチメディアの考え方を導入され、コンピュータによる日本語教授法の開発に携わっておられた。先生の指導下にある大学院生が入力を手伝ってくれて、1年1巻の割合で入力することができた。(コンピュータの購入及びアルバイト報酬については、学園から研究助成金をいただいた。)

作業中最も問題となったのは、やはり単語の認定であった。参考にした国語辞典によって品詞の扱い方が違うということも分かってきた。そこで、よるべき国語辞典を1種にしぼることにし、一応『三省堂国語辞典第4版』の品詞分類の方法に従った。

しかし、一例として、形容詞で「・・・ない」の形のを挙げてみると、

たよりない 情けない 仕方ない  
限りない 心ない 面目ない

などを1語扱いにしているにもかかわらず、「違いない」を連語としているのである。恐らく「・・・に違いない」の形でしか用いられないためであろう。(ちなみに、手もとにある辞書では、集英社及び新明解国語辞典だけが形容詞としている。)

そんなこんなで、アルバイトの学生ともども大変勉強になったのであるが、やっと全3巻の校閲を終了したところである。さてこれをどういう形にするか、冊子の形にするか、CD-ROM化するか、目下検討中である。

- 使用機種 Macintosh II Vx (アップル社)  
Laser Writer II NTX-J(アップル社)  
YANO Reo Drive3.5
- ソフト ファイルメーカー-Pro (クラリス社)

(1996.10.30)



## 学生に薦める本

生活科学部教授 佐藤綾子

結果的にはプラスに転じたことだけれど、私は小さいころから大変な病弱だった。でも、そのお陰で本好きに育った。今も速読の名人だ。そんな日頃の読書の中から、今日はとっておきの1冊をご紹介します。

「EQ—こころの知能指数」ダニエル・ゴールマン著(土屋京子訳 原題Emotional Intellingence) 講談社。

この「EQ」については昨年タイム誌の10月7日号に長い特集記事が出た。社会で成功するためにはIQでなくEQだ、というのである。「本当に人間関係における成功や失敗を決定していくものは、知識がどれぐらいあるかではなく私たちが持っている、熱意、忍耐、意欲などを含めたさまざまな、いってみればこころの知能指数と呼ぶべき感情の能力なのだ」という記事である。筆者は、その面白い例としてマシュマロテストというスタンフォード大学で4歳児を対象に1960年代に行われた実験を紹介していた。4歳児が実験室に集められ、これから実験者はお使いにいくからマシュマロを食べるのを15分から20分我慢して待つように要求される。そこで待つことができた子どもたちが青年となった時点で、より高い社会性を身につけて対人能力に優れ、自己主張ができ人生の難局に適切に対処できる力が身につけていたというものである。人の気持ちを察することができる、思いやりがあるという力の方が、どんな知識をどれくらい暗記しているかということよりも人間関係においては大切だという記事であった。これを読んで、ぜひこの本を翻訳して日本で出版したいと思い、すぐにM出版社に連絡をとり翻訳権と版權をとろうとしたのだが、残念ながらその時点ですでにこの版權は講談社インターナショナルにとられていた。

この本の出だしは、愉快的ことにアリストテレスの「ニコマコス倫理学」(高田三郎訳 岩波文庫)の中にある「しかるべきことがらについて、しかるべき人々に対して、さらにまたしか

るべき仕方に対して、しかるべき時に、しかるべき間だけ怒る人は賞賛される。」という文章から始まっている。ここには、私の専門のパフォーマンス学に共通する重要なポイントがある。自分が怒りたいとか腹が立つという感情がわき上がってきた時に、そのことについて冷静に知性で分析し、それにもっともふさわしいやり方で自分の感情を相手に伝えることができる人だけが賞賛される、というわけである。人間の情動のコントロールの仕方とその表現が重要であることを、この言葉が示している。

EQはもちろん大脳生理学のさまざまな実験例やカウンセリング例に基づいて書かれているが、作者が言いたかった最大のポイントは、私たち人間が情動を知性によってコントロールしていく仕組みを自分でつかんでおこう、という提案である。そしてその時に使われる力がEQだということである。

私たちはみなもちろん、幸福のために生きているのだけれど、その時に自分の情動を情動のままに人にぶつけたりしないで、いかに知性あるいは精神性によってそれをコントロールし、人への思いやりを持ちながらよい人間関係を築いていくかによって、幸福に至る道すじと可能性はずいぶん違ってくるはずだ。この本の中から人間の尊厳への崇拜心、人間性の面白さ、素晴らしさに気づくことは愉快的なことだし、元気もでる。

ところで、この本についての私の論評を理解し、人生をさらに意味深いものにするために次の2冊をつけ加えておきたい

1. 「人間の運命」ルコント・デュ・ヌイ著 (1994年 渡部昇一訳 原題Human Destiny) 三笠書房
2. 「幸福の心理学」マイケル・アーガイル著 (1987年 石田梅男訳 原題The Psychology of Happiness) 誠信書房

## 向田邦子文庫

向田邦子文庫は、関係者の尽力により昭和62年（1987年）に大学図書館の一隅に開設されました。本学卒業生（昭和25年卒）であり、第83回直木賞（昭和55年）を受賞した、向田邦子氏（1929～1982）の旧蔵書をもとに、著作および関係文献等を収蔵しています。

### 資料構成

- 旧蔵書…ご遺族より寄贈いただいた、南青山の自宅に残された図書・雑誌（図書1269冊、雑誌143冊）
- 著作文献…雑誌「映画ストーリー」の編集者時代からの記事掲載誌（170点）  
全著作の初版本等（37点）
- 参考文献…向田氏について書かれた雑誌・新聞記事、図書等を収集中。（1200点）
- シナリオ…ラジオ・テレビドラマの台本（31点）現在も収集中。
- 遺品…テーブル・椅子、留守番電話等。

### 利用方法

- 利用時間…月～金 9:00～16:00
- 見学…レファレンスカウンターへ申し出てください。グループで申し込むときは、「見学願い」を事前に提出してください。
- 閲覧…「特殊コレクション閲覧許可願い」に記入して、事前に申請してください。

\*その際、目録で自分の見たい資料を特定してください。

「向田邦子文庫目録」（1987年刊）

「向田文庫目録データベース」（参考文献の記事を現在入力中）があります。

利用希望の方は、遠慮なくレファレンスカウンターへ、申し込んでください。

毎年、卒論で向田邦子を研究する学生が、他大学からも利用にきています。また、マスコミ関係の取材も多く、向田邦子氏の衰えぬ人気の程を感じさせられます。特に今年は、没後15年目ということもあり、テレビ番組の取材が続きました。

特にNHK衛生第二放送のスペシャル番組「向田邦子・言葉の花束」（放送日：11月11日～14日）のうち2日目の渡辺美佐子さんが読む「手袋をさがす」の収録は、実践女子大学の校内と図書館内で撮影が行われました。

### 収書について

向田文庫では、向田邦子氏について書かれた雑誌・新聞の記事や、図書等を収集しています。主なものを紹介します。

「向田邦子のころと仕事」平原日出夫著  
小学館 1993.8 1800円（C-736）

「向田邦子テレビドラマ全仕事」  
東京ニュース通信社 1994.10 1300円  
（C-759）

「かけがえのない贈り物」向田和子著  
文藝春秋 1994.12 1300円（C-765）

「夢あたたかきー向田邦子との二十年」久世光彦著  
講談社 1995.10 1300円（C-790）

「向田邦子の全ドラマー謎をめぐる12章」小林竜雄著  
徳間書店 1996.3 1500円

「向田邦子心の風景」松田良一著 講談社  
1996.6 1700円

雑誌記事など、向田邦子氏の記事を見つけたら、図書館へお知らせください。皆さんからの情報も待っています。



## 『館員の横顔』

### 大英図書館を見学して

伊藤 民雄

今春、ヨーロッパに海外旅行する機会に恵まれた。その中で、ロンドンの大英博物館は、ロゼッタ・ストーン、パルテノン神殿の彫刻群やミイラといった古今東西の文化遺産を集めた世界最大規模の博物館ということもあるが、有名な大英図書館も同じ建物内にあるということで以前から強く行ってみたいと考えていた。図書館を見たのはわずか一時間程度だったが、その時の印象を書いておこうと思う。

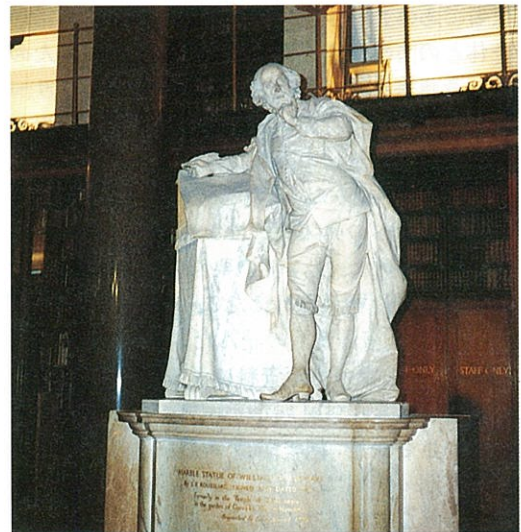
大英図書館(キングス・ライブラリ)は博物館の正面入口を入るとすぐ右側にある。入場すると何故か最初に土産物の売店がある。何故、図書館に売店が?、と考えながら、通り過ぎると十数個のガラスケースが置かれている図書館の展示場が現れる。室内は全体的に資料の保存のためか薄暗くて良く見えない。フラッシュ撮影は禁止されているが、故意かどうかは分からないが、フラッシュが光っていた。立派な木製のガラスケース内には、複製でしか見たことがないシェイクスピアのファースト・フォリオやブロンテやワーズワースといった著名作家の手稿が並んでいた。マグナ・カルタ(大憲章)とグーテンベルクの聖書は確か展示場の真ん中付近にあった筈だが、この原稿を書いている時点で、どうだったかも既に記憶がない。私は気付かなかったが、同行者はビートルズの直筆楽譜を見たという。

展示場を北(奥?)にいくと、遠くからははつきりしなかったがシェイクスピア像がある。両側の壁面にはガラス戸付きの本棚が備え付けられており、天井から床までぎっしりと革製の図書が詰まっており圧倒される。同時に、図書館史で見ると何世紀も前の古典的な図書館を見たような気がした。しかし、古い図書はたくさんあるが、最近の図書はどこにあるのだろうか、ふと疑問に感じた。見渡しても、よく写真で見ると回廊式大閲覧室の入口らしきものもないし、

また情報検索用端末もない。大英図書館という割には狭いし、まるで図書の展示場ではないか、ここは。

一通り見終わってから休憩場で地図を見ると先に感じたいくつかの疑問は解決した。博物館から北へ1キロの所(セント・パンクラス駅付近)にNew British Libraryがあるではないか。ガイドブックには「1996年全面的に移転」と書かれており、キングス・ライブラリと回廊式大閲覧室(現在は多分見られないかも)を残して移転していた(途中かもしれない)。先に感じたように、ここはやはり図書館の展示場部門なのだ。だから土産物を扱う売店があったのだ。そして、自分が見たいと思っていた閲覧室や情報検索の機能はもうここにはないのだ。この時ばかりは、よくガイドブックを読んでおくべきだったと反省した。

大英図書館を見学してから、かれこれ半年が経つが、時間がなくて断念した新館にもやはり行って来るべきだったかなと思う。今度行く機会があれば、ガイドブックをしっかりと読んで行って来たいと思う。





## 宮澤賢治展を終えて

宮澤賢治生誕100年にあたる今年は、出身地花巻での生誕祭をはじめとして、映画・演劇などの上演、マスコミでの賢治特集などが相次いだ。本学でも「＜試み＞としての宮澤賢治」と題した公開講座が開講された。大学図書館でも、それに合わせて、7月5日から19日まで「宮澤賢治関係図書資料展」を開催した。期間中、約230名もの見学者があった。今回の展示の特色のひとつは、本学図書館に所蔵している賢治自身の著作・作品の復刻版を中心とした出版物を紹介し、二つめは、賢治の読書体験に焦点をあてた「宮澤賢治の読んだ本」を展示したことである。後者は、弟の清六氏が作成し、現在に伝わっている賢治蔵書の略目録から、代表的なものを選んだものである。三つめは、賢治の周辺資料として、宮澤賢治との交流が記された『二荊自叙伝』（斎藤宗次郎自叙伝）の当館作製のマイクロフィルムの複写の展示である。三部構成とした展示の趣旨は、賢治が作品をどんな形で、（図書、あるいは誌上に）発表していたのか、法華経信者であり、科学者の側面も持っていた賢治が一体どのような本を読み、座右に置いていたのか、斎藤宗次郎が賢治主催のレコードコンサートに招待された時の印象はどんなものだったのか等々、より賢治の素顔に近づければという思いで、展示を試みた。これをきっかけとして、見学者の賢治への興味づけになればと考えた。

また、今回は、文学部の栗原敦教授の協力で、より充実した展示が行えたことに感謝申し上げたい。特に「宮澤賢治の読んだ本」の展示では大半が、栗原教授の所蔵資料によることになった。

反省すべき点は、展示ケースのスペースが狭く、いささか見にくい点があげられる。展示期間を前期・後期に分けて、展示品の入れ替えを行うことなどの工夫によって、もう少し余裕の

ある展示が行えたのではないかと考えている。

マルチメディアを取り入れた試みとして、会場にパソコン1台を設置し、賢治を視覚的に紹介したCD-ROM「Kenji」の実演展示も行った。それは、見学者の興味をひいたようである。今後は、こうした電子媒体を使った展示も積極的に行っていきたいと考えている。ただ資料を並べるだけではなく、視覚的に楽しんでもらえるような展示を心がけていきたい。

\* 展示パンフレットの残部があります。ご希望の方は、図書館まで申し出て下さい。

### 展示の参考資料

- 1) 奥田弘著『宮澤賢治の読んだ本—所蔵図書目録補訂—』
- 2) 栗原敦著『宮澤賢治周辺資料(その4)—<二荊自叙伝>(斎藤宗次郎自叙伝)による—』(上記1) 2)は、「日本文学研究資料新集26 宮澤賢治 童話の宇宙」(有精堂出版 1990.12刊)

(請求番号910.268-Mi89K) に所収



# Library Mail

## 大学図書館

### 1. ビデオブース増設のお知らせ

後期から、図書館2階の視聴覚コーナーのビデオブースを増設しました。これにより、ビデオブースは6ヶ所になりました。(ビデオは6ヶ所全部で、LDは4ヶ所で閲覧することができます。)

利用にあたって・・・

- ・利用できる資料は、図書館・研究室所蔵のAV資料に限られます。
- ・利用する際には、「AV資料カード」を記入して、レファレンス・カウンターに提出して下さい。
- ・ブースを予約することもできます。

### 2. メッセージBOXへの回答について

メッセージBOX設置後、図書館に様々な要望、意見などが寄せられました。それに対して図書館では、このたびブラウジングコーナーの壁面にボードを設置し、回答を掲示することにしました。また、回答は、利用案内端末の図書館ニュースの中の「図書館Q & A」でも見ることができます。今後も引き続き、ご意見をお聞かせ下さい。

## 短大図書館

### 1. ビデオブース増設のお知らせ

大学図書館同様、今回3ブース増設し、10月1日よりサービスを開始しました。これで、視聴室を含め全部で10ブースになりました。

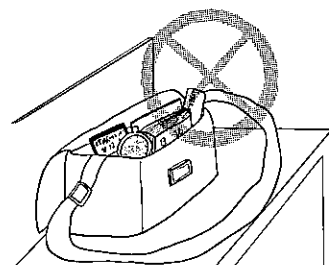
新設ブースでは、著作権処理済みの貸出用ビデオソフトと、黄色いシールシール付きの館内視聴専用ビデオソフトが利用できます。

利用にあたって・・・

- ・貸出カウンターに申込んで下さい。
- ・貸出用ソフト並びに館内視聴専用(黄色いシール付)ソフトを利用される時は、「AV資料」カードに記入の上、パスケースを添えて提出して下さい。

## 盗難に注意!!

悲しいことですが最近図書館内での盗難があいつぎました。貴重品は各自でしっかりと管理して下さい。荷物を置いたまま長時間席を離れることのないように!!



# ※※※いんふお-め-しょん※※※

1996年12月～3月

## 大学図書館

## 短期大学図書館

### 冬休み特別貸出

期間:12/13(金)～1/7(火)

返却日:1/13(月)

冊数:図書 5冊

### 冬休み中の開館

開館日:12/21(土),25(水),26(木)

1/6(月),7(火)

時間:9:00～16:00

\*12月24日(火)は書庫整理のため閉館

### 試験期の開館

1/8(水)～1/24(金)開館時間延長

月～金 9:00～18:45

土 9:00～16:00

### 試験期の貸出

1/8(水)～1/25(土) 3日間貸出

### 試験終了後の開館

1/27(月)～28(火) 9:00～18:00

1/29(水)～2/15(土) 9:00～16:00

3/11(火)～3/22(土) 9:00～16:00

\*1/31(金)～2/4(火)は入試のため閉館

\*2/17(月)～3/8(土)は蔵書点検のため閉館

\*3/10(月)は大学後期入試のため閉館

### 春休み特別貸出

期間:1/27(月)～3/22(土)

返却日:4/11(金) \*卒業予定者3/19(水)

冊数:図書 5冊

### 冬休み特別貸出

期間:12/13(金)～12/26(火)

返却日:1/14(月)

冊数:図書は制限なし

\*雑誌・AV資料共に12/20(金)～12/26(木)

まで:1週間貸出(返却日:1/8)

### 冬休み中の開館

開館日:12/21(土),24(火)～26(木)

時間:9:00～16:00

### 試験期の開館

1/8(水)～1/28(火)開館時間延長

月～金 9:00～18:00

土 9:00～16:00

### 試験期の貸出

1/8(水)～1/25(土) 3日間貸出

### 試験終了後の開館

1/29(水),30(木) 9:00～16:00

2/5(水)～8(土) 9:00～16:00

3/4(火)～7(金),11(火)～14(金)

18(火),19(水) 9:00～16:00

\*1/31(金)～2/4(火),3/10(月)は入試のため閉館

\*2/10(月)～3/3(月)は蔵書点検のため閉館

### 春休み特別貸出

期間:1/27(月)～3/19(水)

返却日:4/10(木) \*卒業予定者3/19(水)

対象:図書(冊数は制限なし)

## 編集後期

第17号から編集委員に金田係長が新たに加わりました。

先日大学構内で泥棒が現行犯逮捕されました。安心だと思われていた図書館も例外では無かったようです。

貴重品は自分で管理して下さい。また、長時間席を離れないようにしましょう!!

\*詳細や変更は掲示にてお知らせします。

LibRARY MATE 第17号 1996年12月

発行所 実践女子大学図書館

東京都日野市大坂上4-1-1

実践女子短期大学図書館

東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 三 隅 治 雄